

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2022年												2023年										
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~5日	3月 ~12日	3月 ~19日	3月 ~26日	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日
カンピロバクター	76	34	43	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	13	17	5	11	11	15	14	7	14
病原性大腸菌	29	41	37	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	14	17	12	12	10	17	19	26 (3)	24
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	0	0	0	4	1	0	0	0	0
サルモネラ	4	3	7	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	1	0	1	0	1	0	3	3	0
黄色ブドウ球菌 MSA	35	12	25	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	3	5	2	3	2	2	0	7 (1)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	19	10	9	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	4	4	5	1	2	2	3	5	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	0	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
ノロウイルス	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	3	2	1	0	0	0	0	0	1

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第17週(4月24日~4月30日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	12	結核	12	1		2	1	4	2	2
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1			1				
四類	1	レジオネラ症	1					1		
五類	19	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1	1						
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					2		
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1						
		水痘(入院例)	1					1		
		梅毒	13	1	1			8		3
新型インフルエンザ 等感染症	1,988	新型コロナウイルス感染症	1,988	251	157	231	69	893	144	243

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第17週に893件の報告がありました。新規感染者数は、ほぼ横ばいで推移しています。感染を再拡大させないために、一人一人が基本的な感染予防対策を続けることが大切です。

2 インフルエンザ

定点当たり4.89人の報告がありました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が5件報告されています。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第17週 A型:61人、B型:0人

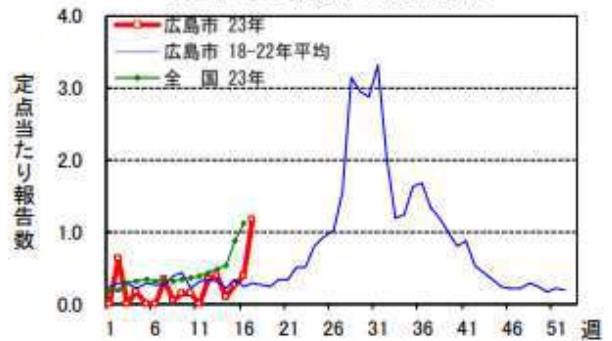
3 RSウイルス感染症

定点当たり1.17人の報告があり、前週と比べて大きく増加しました。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり1.79人の報告があり、前週と比べて増加しました。

RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	増減		前週と比較しておおむね		
														急増減	増減		微増減	横ばい
小児科	インフルエンザ	176	4.89	0.35		↔	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.07			↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減		
	咽頭結膜熱	14	0.58	0.39		↔	小児科	RSウイルス感染症	28	1.17	0.28		↑	↔	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	1.79	1.57		↔	眼科	急性出血性結膜炎	2	0.25	0.03			↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減		
	感染性胃腸炎	108	4.50	7.18		↔	眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	0.65			↔	↔	ほとんど増減なし		
	水痘	1	0.04	0.15			基幹	細菌性髄膜炎	1	0.14	-							
	手足口病	-	-	0.39				基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-						
	伝染性紅斑	2	0.08	0.15				基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	-						
	突発性発しん	10	0.42	0.35				基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-						
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.03				基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.77						

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	38	30歳代・1人、70歳代・2人、80歳代・1人
4	レジオネラ症	1	7	50歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	7	10歳未満、40歳代
5	水痘(入院例に限る)	1	1	20歳代
5	梅毒	8	85	20歳代・1人、30歳代・1人、40歳代・2人、50歳代・3人、60歳代・1人